



青空たかく

長南町立長南中学校
生徒数 138人
発行者 保川浩基
電話 0475-46-1190

- 〈学校教育目標〉 郷土を愛し、未来を拓く創造的な知性と体力を身につけた心豊かな生徒の育成
- 〈めざす生徒像〉 自ら学び、考え、表現する生徒（創造）
- 長南プランの推進
「学力と人づくり」 目標を持ち最後までやり通す、たくましい生徒（努力）
- 郷土を愛し、思いやりと感謝の心が持てる生徒（郷土愛・思いやり）



11月12日、長南祭が行われました。急な変更にも関わらず当日は延71名の保護者の皆様にご参観いただきありがとうございました。

さて、各学級の合唱前に、これまでの取り組みや思いの込められた学級紹介があります。合唱はもちろんですが、生徒たちの熱い気持ちが伝わるメッセージをここに紹介します。

1年A組「マイバラード」 学級目標：心を一つに美しい歌声を響かせよう！～笑顔はナンバー1～

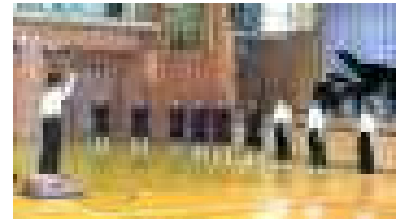
僕たち1年A組は「マイバラード」を歌います。

この曲は、前に進んでいく勇気をくれるような曲で、まさに1年A組にあっていきたいと思います。1年A組は、みんな明るく元気で、個性豊かなクラスで、毎日笑顔で生活しています。

練習では、アルト・ソプラノ・テノールに分かれて、音程や声の大きさを意識して、繰り返し、何度も何度も歌ってきました。特に、ソプラノとアルトは人数が少ない中、1人1人が声を出し合い、美しい歌声を目指してきました。テノールも体をゆらしながら、一生懸命に歌う姿がありました。

僕たちは、「心をひとつに美しい歌声を響かせよう」をテーマに、日々、心をひとつにして練習してきました。また、1年生らしく、明るく楽しい合唱にするために、細かいところも意識して取り組んできました。

今日は、練習の成果を、存分に発揮したいと思います。1Aのみんなと一緒に歌う最初で最後の合唱なので、全員で精一杯歌います。どうぞ、お聴きください。

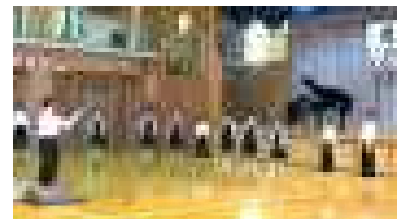


1年B組「COSMOS」 学級目標：声をひとつにみんなの心に響く合唱にしよう

私たち1年B組は積極的に協力できるみんな優しいクラスです。そんな私たちが歌う曲は「COSMOS」です。一人一人が唯一無二の存在であり、それぞれに良さがある。ホテルのように人々を落ち着かせる光、星のように暗闇の中で勇気をくれる光、と輝き方は違うけれどみんなが輝けるはず。そんな希望をもってこの曲を歌います。

声をひとつにしてみなさんの心に響かせます。

どうぞお聞きください。



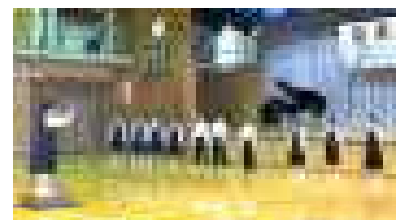
2年A組「やさしさに包まれたなら」 学級目標：歌詞の意味を大切に、会場を優しさで包み込もう

私達2年A組は『やさしさに包まれたなら』を歌います。この歌は曲名の通り、とても優しい歌です。

忙しい中学校生活、そんな中忘れかけてしまっている夢や希望を、幼い頃の思い出と共によみがえらせてくれる。コロナ禍で苦しい時も、不安な時も、いつもそばに寄り添い、温かく見守ってくれる。この歌を歌う度に、そんな気持ちになります。

例年とは違い、思うようにいかない練習の中でも、私達はこの歌に励まされ、お互いを励まし合い、今日までの練習を重ねてきました。私達の歌でこの体育館を、そして長南中の全員を、優しさで包み込めるよう努力してきました。

さあ、今、カーテンを開いて、2年A組の心からのメッセージをお聞き下さい。



2年B組「未来への旅」 学級目標：未来に希望がもてるように思いを込めて歌おう

突然ですが、みなさんは未来にどんな希望を持っていますか？明るい未来、楽しい未来、平和な未来・・・わたしたちが歌う「未来への旅」は、目の前の広い世界へ、勇気を出して一步を踏み出す曲です。歌詞の中で、「生きることは、未来への旅だ」というメッセージを伝えています。

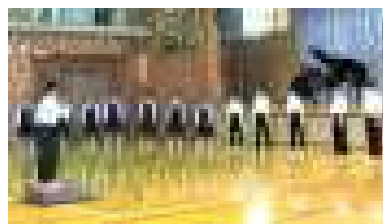


私たち2年B組は、明るく元気な個性豊かなクラスです。曲を歌うに当たって、個性を大切にしつつ、思い描く未来について話しあいながら、合唱練習を行ってきました。今年の練習は、ディスタンス、マスク着用、換気、制限だらけで苦しいときもたくさんありました。ですが、私たちの合唱で明るい未来を思い描いて欲しい、希望を持って欲しいという思いで合唱を作り上げました。

「Do our best」ベストを尽くして一生懸命歌いたいと思います。聴いて下さい。

3年A組「人間」 学級目標：クラスで協力し、歌声を響かせ、最高の思い出をつくろう

みなさん、地球の寿命をご存じですか。今、地球は約45億歳、50億年後には、この星は太陽に飲み込まれ、なくなってしまうと、一説では言われています。



最近、テレビで頻繁に言われている「SDGs 持続可能な開発目標」の中に、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「気候変動に具体的な対策を」「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」などがあげられています。なぜ、今、このようなことが言われ始めているのでしょうか。それは、人間が人間のためだけに都合のよい生き方をしてきた結果、地球という星が病んでしまったからなのです。

「人間」 私たちが選んだ、最後の合唱となるこの曲は、司馬遼太郎さんの「21世紀に生きる君たちへ」をもとにつくられた「歴史」「人間」「自己」「決意」のなかの1曲です。4つのパートで構成される混声4部合唱で、ところどころに4分の1拍子や、8分の3拍子が出てきたりする、リズムやハーモニーがとても難しい曲です。完成度はまだまだかもしれませんが、私たちは、私たち人間への戒めとしてこの曲を歌います。あたりまえのように日々、この長南町の豊かな自然に囲まれ、平和に生活している私たち。21世紀に生きる人間として、何ができるかを真剣に考えなければいけない今、大切なことは。それは・・・

3年B組「信じる」 学級目標：中学生生活ラスト！仲間を信じて、みんなに感動を届けよう！

みなさんは、私たちを取り巻くこの世界を、信じることができますか。昨今の世の中に目を向けてみると、私たちには信じがたい、心を痛めるようなニュースがあふれています。いまだ予断を許さない新型コロナウイルス感染症。様々なデマが流れ、不当な差別や偏見が広がりました。また、インターネットによって私達の生活が便利になる一方で、増え続けるSNSの誹謗中傷が大きな社会問題となっています。



ネット社会によって情報があふれ、人は大切な何かを忘れ、信じることが難しい世の中になってしまっているのではないのでしょうか。

このクラスになって1年半が経ちました。新型コロナウイルス感染症によって、今までどおりではなくなった学校生活。それでも、かぎられた学校行事や、これまでのかけがえのない中学校生活を通して、クラスの絆を深めてきました。

そしてむかえる、最後の長南祭。私たち、3年B組が選んだ合唱曲は、「信じる」です。転調による曲想の変化や、強弱の対比、この歌詞に込められた平和を願う気持ちをどう表現したらよいか、みんなで何度も話し合い、想いを一つにしながらか練習を重ねてきました。

歌詞の中に何度も出てくる、「信じる」という言葉。悲しく、辛いことがあったとしても、日々新しくやってくる世界を信じる。何度もこの歌を歌う中で、「信じる」決意と「生きる」エネルギーを感じました。この激動の社会の中で、少しずつでも、身近なことから何かを信じてみようと思う、希望を感じさせてくれる、まさに、「生きるみなもと」となる曲です。

これまでの練習を信じ、ともに歌う、仲間を信じ、そして、合唱の力を信じて、私たちの想いを、この体育館、一人ひとりの心に届くよう、精一杯歌いたいと思います。

どうぞ、お聴きください。